

質問書への回答

令和7年5月9日

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

事業の名称：令和7年度廃炉関連企業の競争力強化支援事業業務委託

回答の根拠：令和7年度「廃炉関連企業の競争力強化支援事業業務委託」公募型プロポーザル募集要領3

(質問内容)

1 報告書の書式について

事業者の体制面を含んだ内部環境や市場の熟成度を含んだ外部環境により、支援内容が異なってくる可能性があると考えております。ついては、仕様書において作成することになっている技術シーズシートや課題解決活動計画を事業者に応じて他の書式や報告書に変更することは可能でしょうか。

(回答)

- 本公募型プロポーザルにおいて、技術シーズシートや課題解決活動計画の書式及び内容構成を提案いただきます。支援開始後に支援対象企業の個別の状況に応じて、支援効果を最大化するために、当初提案いただいた書式や報告書を変更することは可能です。なお、その際は、その理由と変更案を事前に提示し、協議してください。

(質問内容)

2 支援の内容について

マッチングを主にした事業ではありますが、事業者によって経営課題の優先順位が異なると考えております。場合によってはマッチング以外の課題の特定と解決について主眼をおいた支援とさせていただくことは可能でしょうか。

(回答)

- 支援対象企業の個別の状況に応じて、支援効果を最大化するために、マッチング以外の視点で支援することは可能です。なお、その際は、その理由と新たな視点案を事前に提示し、協議してください。

(質問内容)

3 フォローアップ調査の方法について

既支援企業のフォローアップ調査は、面談形式ではなく郵送、Email またはオンラインでのアンケートでよろしいでしょうか。

(回答)

○差し支えありません。なお、調査方法案を事前に提示し、協議してください。

(質問内容)

4 フォローアップ調査の内容について

これまでの支援内容や支援先個別の経営状況など、過去の実績を参照しなければ不明な点も多くあると考えられます。アンケートの質問内容について制約はございますか。

(回答)

○質問内容について特に制約はありません。なお、質問案を事前に提示し、協議してください。